

解答例 および 点数配分例

問1 平成29年度の75歳以上運転免許保有者数は平成19年度のそれと比較しておよそ何倍になるか。小数第1位を四捨五入して解答欄の()内に整数で書きなさい。

10点 およそ(2)倍 $=543万 \div 280万 = 1.908127$

問2 図1「年齢層別の免許人口10万人当たり死亡事故件数」によると、平成29年度の75歳以上高齢運転者による死亡事故の全年齢層(16歳以上)による死亡事故に占める割合は約何%であるか。小数第2位を四捨五入して小数第1位まで求めなさい。

10点 約(36.3)%

$$\frac{5.7 + 9.2 + 14.6}{11.4 + 5.2 + 4 + 3.3 + 3 + 2.9 + 3.8 + 3.6 + 3.4 + 3.6 + 3.4 + 4.1 + 5.7 + 9.2 + 14.6} \times 100 = 36.33$$

問3 図2「75歳以上・75歳未満の運転者の類型別死亡事故件数」と、図3「75歳以上・75歳未満の運転者の人的要因別死亡事故件数」を見て、75歳以上高齢運転者による死亡事故の件数は類型と、人的要因のそれぞれでどのような特徴があるか。解答欄に書きなさい。

どれか一つで10点 類型(車両単独事故が多い。工作物衝突が多い。路外逸脱事故が多い。)

これ以外の項目が入っていたら0点 または、「75歳未満に比べて『横断中』が少ない」も10点

どれか一つで10点 人的要因(操作不適が多い。ブレーキとアクセルの踏み間違いが多い。)

「ハンドル操作不適が多い」のみは5点、これら以外の項目が入っていたら0点

問4 図4の「75歳以上高齢運転者の認知機能検査結果」を見て、75歳以上高齢運転者による死亡事故の発生に影響を及ぼしたと考えられる要因は何か。

10点 (認知症または認知機能低下を起こしているおそれがあること。)

問5 交通死亡事故を未然に防ぐために75歳以上高齢運転者に対して、どのような助言・指導が必要と考えられるか。その理由とともにあなたの考えを述べなさい。なお、解答は400字以内にまとめなさい。50点

5点 高齢運転者に対する具体的で妥当な助言・指導内容が1つ以上書かれている。

10点 高齢運転者が認知症もしくは認知機能の低下のおそれのある場合について、「専門病院を受診する」「可能であれば免許証を自主返納する」などの具体的な助言・指導内容が1つ以上書かれている。

10点 上記それぞれについて、その理由が書かれている。

10点 文章内容の辻褄があっている。

10点 文章の体裁が整っている。

5点 文字数が360文字以上書かれている。 -3点 誤字・脱字、不明な文字(1ヶ所につき)